

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会					
事業所の名称 (施設名)	ひびき					
事業所番号	4650000047					
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	<input type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/>	保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市下福元町字松ヶ尾1732番地					

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 27 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓ 2にURLを記載
	2. 内容	https://www.keiseikai-kagoshima.jp
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	藤崎 知美
連絡先 (TEL)	099-263-3588

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひびき		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月12日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の課題に合わせ、定期的に個別療育を行い、課題に合わせた一人一人に合った支援を行う。	・本人支援の5領域領域を踏まえ、基本的な生活、就学、社会生活を見据えた支援を行うため、個別での支援内容をお子様が楽しく参加できるよう内容を決めている。	・課題に合わせた遊びと支援の研究 ・職員のスキルの向上 ・専門職員との連携
2	・お子様の支援について、OT、PT、STの専門職との連携を図る。 ・個々で専門分野の研修に参加し、個別支援への強化を図る。	・必要に応じて専門職員に入っただき課題を専門的視野で解決する方法を職員と共有する。 ・一人一人に合わせた専門的に特化した支援方法を定期的に共有する。	・職員のスキルの向上 ・専門職員との連携
3	毎日でも通いたいと思える支援	・活動内容を毎月固定化しないよう新しいものや季節を感じられる内容を取り入れるようにしている。 ・自分の気持ちを言葉で伝えられるよう一人一人に合わせその声を大切にしている。 ・幼稚園、保育園の大きな集団から離れて、小さな集団の中で最後までやり遂げられる達成感を味わえるよう支援を行っている。	・課題に合わせた遊びと支援の研究 ・職員のスキルの向上 ・専門職員との連携

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流	・全利用児が保育所や認定こども園、幼稚園との併用の為、そこが主な生活の場となっており、改めてお子様単位での交流には至っていない。	・保育所や認定こども園、幼稚園とは、常に情報共有を行い、お子様の一貫した支援を図ってはいる。ご家族には、交流が目に見えてない部分もあるかと思われる。まずは支援者サイドの交流をしっかりと今後も継続し、ご家族様にもご報告を密に行う。
2	父母の会についての周知	・家族会として年2回行っておりますが、参加者は数名程度のごとが多く、何を行っているか周知がなされていないことが、参加の低い要因になっていると思われる。	・今年度、第1回目を発表会の始まる前の時間に行い、多くのご家族にご参加いただいた。どのような内容で開催されているか少し周知されたのではないかと思います。また、第2回目もたくさんの方々に知っていただけるよう周知に向けて工夫する。
3	ホームページ、SNSでの活動概要の発信について	今年度よりSNSの運用を始めたが、運用に当たれる職員が少なく、不定期となっていた。写真で様子を見たいご希望はたくさんある。	・SNSでの発信をもう少し増やせるよう、職員の知識向上を目指す。 ・連絡帳が12月より電子化されたので、定期的に電子連絡帳での写真を載せるよう改善に取り組む。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ひびき
------	-----

公表日 2026年 2月 27日

利用児童数 17名

回収数 17

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17					支援に適切なスペースを保ちつつ、危険のない環境を確保できるよう努めております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17				お迎えに直接伺うときか平日の様子とはわかりませんが、その時子ども様の様子をしっかり聞けるくらいの十分な配置だと思います。また、個別支援にも対応したりしているので十分足りていると感じます。	法人全体で職員配置数は適切であるようになされています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17				詳しいことはわかりませんが、我が子はわかってきていると思います。	施設全体バリアフリーとなっております。また、環境を視覚でわかるような工夫をしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17				いつも清潔感があります！	毎日、清掃消毒を行い清潔な生活空間で活動できるように努めております。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17				表現は適切かはわかりませんが、我が子のようによく接して下さっているのがとてもよく伝わります。	職員全員でお子様様の特性を理解し、個別支援や必要な専門職の職員に入ってもらった支援を行っております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17					個別支援に支援に特化した内容を毎月取り入れております。今後もよりよい支援プログラムを組んで参ります。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					お子様の希望、ご家族様のニーズを踏まえて、発達を促す計画を作成するよう努めております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17					児童発達支援計画には、5領域や家族支援を踏まえた子どもの具体的な支援内容が設定されております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					児童発達支援計画に沿って職員全員で支援に取り組んでおります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17					活動プログラムはお子様方が感動したり、もっとやりたいと思えるような新しい試みも含めて組むよう心掛けております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	14	1		2		お子様全員、保育所や認定こども園、幼稚園等と併用されていて個別には交流できてますが、要望があれば事業所単位でも考えて参ります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					ご契約時に説明を行わせて頂いてます。ご不明の点はいつでも職員にお声掛けください。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					面談をしたうえで、聞き取り話し合いの上ご説明させて頂いております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16			1		家族会(年2回)にて、研修の機会も設けてます。今年度は発表と一緒にお話を聞いて頂きたく思います。また、ABAの研修を開催させて頂いて頂いております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17					お子様の気になる様子等は、すぐに連絡等するよう心掛けてます。また、ご家族からの連絡もいつでもお聞きしております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17					通園時の電子連絡帳や面談時に限らず、いつでも相談は伺いますので遠慮なく職員までお声掛けください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					今後も信頼をいただけるようお子様1人1人に寄り添う支援を行って参ります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	1	1	1		年2回の家族会に加え、親子療育でのイベント、法人主催のイベント等を行い、交流の場を設けて頂いております。ご家族で参加できるイベントを今後も検討して参ります。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17					相談申入れに対しては、いつでも受け入れております。また、事業所内だけでなく、法人内全体でも受け入れますので、いつでもお声掛けください。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				今年度は電子連絡帳を導入しました。面談や電話での連絡に加え、お休みの連絡等いつでもできるように改善しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15		2	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと事業所での様子が見たいと思います。 ・もっとしてほしい。 ・SNSに原予さんを顔にモザイクなしで載せていいですか？とよくお話をいただくのですが、肝心のSNSアカウントが見つからず、どのように発信されているのかが気になってます。ラインを通して載せたアカウントなどを送って頂いたりする方が親としては安心できるような気がします。 	今年度、ご家族向けにInstagramを始めました。不定期ですが、活動を紹介していきます。また、インスタのフォローが難しいとお声を頂いたので、希望があればQRコードをお渡しするよう改善を行っております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17				個人情報に関しては配慮しております。気になる事がある際はいつでもお知らせください。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17				様々なマニュアルは各場所に掲示されてますので、ご来館の際にご確認頂きますようお願い致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17				月1回、様々な避難訓練を行っております。非常時はお子様の安全を第一に職員も行動できるよう参加しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17				お子様の安全が確保されるよう計画されてますので、ご不明な点は職員までお尋ねください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17				事故等が発生した際は、迅速に連絡し、状況を説明しております。今後も事故等のないよう努めて参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17				毎日行きたがります。毎回安心して通えるようお子様1人ひとりに寄り添う支援に努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1		<ul style="list-style-type: none"> ・休みだと立ちます。それくらい大好きな場所です。 ・前の日から楽しみにしています。 ・パンが楽しみだと言う時と行きたくない時がありますが、最近はいきたくないと言う事が少なくなってきました。 	お子様方一人ひとりの楽しいことを見つけて、楽しく通える事業所でありたいと日々努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17				インスタへの写真更新楽しみにしています、お忙しいとは思いますが更新していただけると嬉しいです。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ひびき		公表日 2026年2月27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準を満たした支援室になってます。また、安全に配慮した環境作りに努めています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準を満たした職員配置数となっています。お子様の状況や人数等も考慮し職員数を調整しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			館内バリアフリーになっております。また、視覚でわかりやすい表示も取り入れております。今後も視覚でわかる表示を工夫して参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	○		お子様方の安全に配慮し、整然と整頓した環境を常に保つように努めています。療育室、トイレ、倉庫等の管理責任者がいるため衛生管理を徹底しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別支援については、部屋を確保して各お部屋にて支援を行っている。1対1もしくは1対小人数のため、落ち着いた集中して取り組む様子が多く見られております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月1回ケース会議時に業務改善事項があれば協議し、その他の改善事項があれば朝礼等で発信し改善に努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			毎年1回保護者様向けの評価、事業所評価を実施し、保護者様からいただいたご意見には真摯に改善に取り組んで参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月1回ケース会議を開催し、その際に意見を把握しています。また、毎日の朝礼でも必要な情報等については情報共有を行っております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		必要な事項があれば、今後取り入れるかを検討して参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年2回の法人の研修、毎月の児童支援課内の研修と職員会議等で随時研修を行っております。また、必要に応じて外部の研修も参加しております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その情報を職員で共有後計画案を作り、保護者様、職員との検討会議を経て本計画とする流れで作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員で会議し、児童発達支援計画を作成しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画案を作成後、職員や保護者様と検討会議を行い本計画を作っている為その中で共有している。また、計画の変更があった際も随時共有を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ガイドラインに基づいた書式で児童発達支援計画を作成している。日々の行動観察はにて日報にて記録し、その中の項目にてアセスメントを行っております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援ガイドラインに基づき支援内容を設定しています。また、五領域にかかわるねらいを必ず織り込むようにしております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動内容の立案は職員間でお子様の状況に応じて協議しながら、プログラム立案を行っております。	

供

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	毎月、季節の行事に合わせて、季節感が感じられるまた、楽しかったと思ってもらえる活動を行うよう新しいものも取り入れております。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	月に数回の個別支援を設け、希望されるお子様に、個別支援を行わせていただいております。また、通常は少人数の中で集団の練習を行っております。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝礼時活動内容含め、支援内容、役割分担について職員間で共有しております。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援終了後クラスごと職員間で支援の振り返りをし、お子様の状況、保護者様からのご意見、ご相談内容等を共有しております。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日業務日誌を記載し、人数、活動内容、所感をめれなく記録し支援の改善に繋げております。マンネリにならない支援にも努めております。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	お子様の目標達成状況に応じて見直しを行っております。	

関係機関や保護者との連携

24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理責任者を始め、直接支援している保育士・児童支援員が参加しております。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	南部地区連絡会への参加、幼保連絡会、小学校連絡会の開催などで、地域や関係機関との連携をはかっております。	
26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	併用利用のお子様には、年2回情報交換会を行っており、就学児に関しては就学先との連絡会を行っています。療育参観やズーム会議、併用先へ訪問にて実施しております。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	就学児を対象に小学校連絡会を実施し、就学先との情報共有と相互理解を図ることができるよう努めております。	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。			
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	南部地区連絡会に参加し、他事業所との意見交換や助言をいただいております。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		お子様は全員保育園、幼稚園に所属し、交流はできている。事業所単位については何ができるか検討してまいります。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	日頃のミーティングや職員会議にて共通理解を図っております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	家族支援については、今年度よりABAを取り入れ、研修や説明会を行い、ご家族様にも情報提供を行っております。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に説明を行い、利用者負担が必要な場合は随時説明を行い同意をいただいております。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	作成する前にお子様、保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その内容を検討会議にて確認しております。	

保護者への説明等

37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		年2回、支援計画を基に検討会議を行い、保護者様より同意をいただいております。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		引き続きご家族からのご相談には迅速に、かつ適切に応じられるよう努めてまいります。	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		交流の場として、定期的に親子療育にて交流出来る機会も設定しております。今後も保護者様同士の交流が図れる機会（茶話会等）を設けております。	
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談があった際は、職員間で共有し最善な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、解決に繋げられるよう対応して参ります。	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月1回行事予定表にて活動内容等をお知らせしております。また、ご家族向けのインスタを今年度開始し、活動風景を発信しております。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報には厳格な取扱いの徹底を図るべく保管しております。また、写真の掲載については保護者様の同意を得たうえで掲載しております。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様には視覚的支援など様々な手段を用い支援しております。保護者様には今年度途中から電子連絡帳に変更し、いつでも連絡が取りやすい形に変更しております。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人全体で毎年サマーフェスタ、フリーマーケットを開催し、地域住民の皆様にも来ていただいております。	
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは整備できております。また、定期的な訓練も行っております。	
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成し、随時変更があれば更新しております。毎月1回、地震、火災、不審者対策等の避難訓練を実施しております。	
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		発作、服薬、予防接種等については契約時に詳しく確認を行い、変更があれば随時申し出ていただいております。	
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		新規面談時にアレルギーについて聞き取りを行い、必要なお子様には医師の指示書をいただき栄養士とも共有し個別対応を行っております。	
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、随時ケース会議にて職員間で研修や訓練を行っております。	
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			BCP等はご家族へ向けて掲示していますが、取組内容の周知方法を今後検討して参ります。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあった際は報告書を作成し、事業所内で方策を検討しております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月会議を行い、職員全員で虐待防止に努めております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現在身体拘束が必要なお子様はいらっしゃいません。必要なお子様に関してはお子様、保護者様に同意書にご署名いただき、児童発達支援計画に記載しております。	

非常時等の対応